

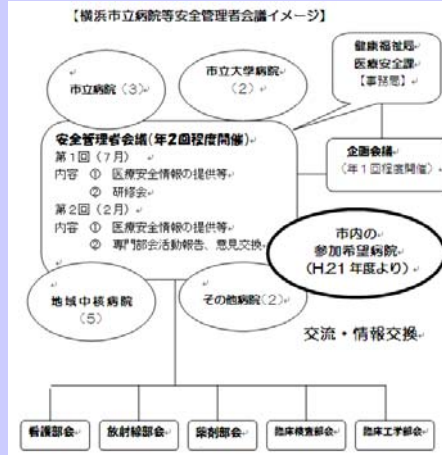
横浜市立病院等安全管理者会議

【目的】

横浜市内の市立病院・市立大学病院・地域中核病院・その他の病院（以下「参加病院」という）における安全管理推進および市内医療機関の医療安全向上、啓発を目的として、横浜市立病院等安全管理者会議を設置する。（下線部：平成21年度改正）

【会議所管事項】

- (1) 参加病院における安全管理の推進に関する事。
- (2) 参加病院における安全管理について情報の共有化に関する事。
- (3) 参加病院における安全管理の研修、教育に関する事。
- (4) 参加病院におけるその他安全管理に関する事。
- (5) 市内医療機関の医療安全向上、啓発に関する事（H.21年度改正）



平成24年度の活動

- 昨年2月に企画部会を開催
今年度の活動のテーマを
「中小病院の医療安全を支援する取り組み」とした
- その後、事務局の医療安全課とも打合せ
7月に中小病院支援のためのワークショップの開催を計画
参加募集チラシのキャッチコピーを次のように決めた

他の病院はどうやっているだろう？

～いただき！隣の医療安全～

ワークショップの概要

- 平成24年7月5日（木） 13:30-16:30
技能文化会館多目的ホール
- 安全管理者会議メンバー病院以外の市内121病院に対し、複数の職種でのグループワークへの参加を呼びかけたところ、31病院61名が申込みがあった（参加は31病院56名）。
- 参加申し込み時に、「話し合いたいこと、悩んでいること」を具体的に書いてもらい、以下の10テーマ別に参加者をグループ分けして、安全管理者会議のメンバー2~3名が各グループのファシリテーター・アドバイザーとなってグループワークを行った。
 - ①放射線・医療機器・物品管理 ②薬剤 ③クレーム対応
 - ④インシデントレポート ⑤安全文化 ⑥研修会・多職種の関わり
 - ⑦転倒 ⑧事例分析方法 ⑨看護師・事務 ⑩精神科

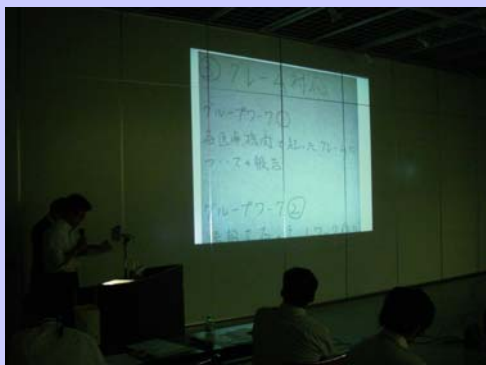
ワークショップの流れ (全部で3時間)

1. 開始挨拶・趣旨説明(10分)
2. チーム医療・リーダーシップに関するミニレクチャー(20分)
3. グループごとにリーダー・サブリーダーの選出(5分)
4. 医療安全で困っていることを出し合おう(40分)
- 休憩(15分)
5. 困っていることへの改善策を出し合おう(40分)
6. 各グループからの発表(45分)
7. 総括・終了挨拶(5分)

グループワーク風景



発表風景



グループワークに期待したこと

- リーダー、サブリーダーを決めてグループワークの進行役をお願いした
- それぞれの病院で困っていることを出してもらい、グループのメンバーが相互に協力しながら、その解決のため半年間の活動計画をイメージしてもらった
- 各グループごとにメンバーの連絡先を交換して、以後も継続的な話し合いが行われるように促した
- グループ内で話し合った改善策等を各病院で実践してもらい、その結果を第2回会議で発表するよう依頼した
- リーダー・サブリーダーには、活動継続のためにリーダーシップを発揮するようにお願いした

会議後の経過

- 10月10日 各リーダーに進捗状況(グループとしてでも、個人としてでも可)確認のメール送付
→ 個々の病院の取組について3グループの4名から回答
- 11月5日 成果発表の募集の取りまとめを各リーダーにメールでお願い
→「発表希望なし」という返事1つのみ頂いた。
- 11月26日 各リーダーに再度発表依頼のメールを送った
発表ができない場合
①討論会なら参加してもよい ②それも今回は遠慮したい
についての回答もお願いした
→1名の方より発表について承諾いただいた。
「クレーム対応」グループだけが、継続的に会合をもっていることを把握していたので、事務局からリーダーに声掛け → 発表を承諾